



friendship force
WESTERN TOKYO

西東京クラブ会報

No. 15 2012 JUNE

フランス・ピアリッツ受入特集号



【1】 ピアリッツ受入れ

1-1) 総括

ED 石井 健二

天候にも恵まれ、怪我・病人の発生なく、無事交換を行うことが出来ました。ご支援、ご協力下さいました皆さまに厚くお礼申し上げます。昨年の大地震・津波、原発事故発生以来全国的に来訪クラブが減少したなか、この交換も当初のアンパサダー数は11人と少な目でしたが、最終的には17人(7カップル、単身女性3人)を迎えられました。当クラブ9家庭のほか、2年前にピアリッツ渡航のEDを勤めた東京クラブ河原様が受け入れて下さいました。マッチング変更要請などがあって若干懸念もありましたが、交換が始まってみると穏やかで快活な方達で、楽しく有意義な交換でした。大震災への義援金も用意して来られました。桜の開花が遅れたのは残念でしたが、各行事、フリーデーの交換、4家庭がご用意下さいましたホームパーティー、其々大変好評でした。交換の事前情報の充実、観光案内時の団体行動の工夫など、今回の課題を生かして今後さらに良い交換が出来ればと思います

1-2)ホストファミリー1

Merci

東京クラブ 河原 ゆき子

2010 年に東京クラブでビアリッツクラブとの交換があり、ダンスや歌、料理等をいろいろな場面で披露していただきました。その様子から、人々がバスク文化をととても大切にし、伝統を重んじている姿勢を強く感じました。

今回、懐かしい人々との再会を楽しみにしていました。お世話になったホストファミリーのご夫妻は大変明るく、朝晩には日本語のあいさつを楽しそうにかわしてくれました。また、一緒に出かけた観光では好奇心旺盛、とても元気に行動され、いろいろなことに興味を示しカメラを向けていました。



画廊「ジ・アース」前にて

家では筆ペンや古い杯がとても気に入り、お土産に差し上げました。次回には是非この杯で乾杯することを楽しみにしています。此の度の受け入れを通して、お互いの文化や習慣を理解し、深めることが出来たと思っています

西東京クラブの交換に参加出来たことに感謝し、ED 石井様、メンバーの皆様にご心より御礼申し上げます。

1-3)ホストファミリー2

「グルテンアレルギー有り」との情報

虫明 陽子

ED 石井さんに詳細な解説・対応資料を揃えて頂け、グルテンフリーのパンも入手できた・・・とは云えいつも増して緊張しての受入れでした。

幸いな事にアレルギーも重篤ではなく、少々工夫で殆どの料理を召し上がって頂け「美味しい」の連発。双方共に大変幸せでした。(準備の点滴等の出番が

無くホッ！ 事前に通常の数倍のメール交換で会う前から仲良くなった感、というおまけもあり)

とてもチャームイングで優しいご夫妻は、狭くて足を折り曲げて乗るような私の車(赤のスポーツタイプ)をYokoのフェラーリと呼びかけ、私をボンドガールと煽って下さいました。(願わくば、いつかはこの勘違いが真実にならん事を夢想してみたり・・・)



鶴岡八幡宮にて

日本の文化が大好き、といつも目が輝いておりました。渋谷スクランブル交差点に大はしゃぎし、あの竹下通りの人混みにも勇猛果敢に突入し、風呂場の椅子に Wonderful と言って座る。楽しそうな笑顔にホストの疲れは吹き飛んで行きました。

1-4)ウェルカムパーティ

高垣 孝

今回は来日した当日の夜にウェルカムパーティを開きました。ゲストとして石阪町田市長(特別会員)、書道の信岡先生、東京クラブからビアリッツクラブ渡航経験者11名の方々も参加して下さいました。その結果総勢65名という、おそらく今までで一番多い参加者による盛大なウェルカムパーティとなりました。ビアリッツクラブの方々も楽しんでおられたようですが、さすがに長旅の疲れか、食事やワインは余り気味でした。

今回は人数も多かったので、8 テーブルに分け、それぞれのテーブルに食事やワインを用意してみました。今までのビュッフェスタイルのように、全員が料理を取りに行く必要がなかったため、順番待ちや、席を外す時間を節約できたのは、よかったと思います。

余興としては定番の「花」の他、フランスにちなんで、「オー・シャンゼリゼ」の歌と振り付けを披露しましたが、練習の成果もあり好評だったようです。

参加者も多く、盛りだくさんのプログラムがあったた

め、もう少し、食事や歓談の時間が欲しいところでした。できれば次回は会場を2時間制限ではなく、2時間半ぐらい取れる所にしたいところです。パーティ係として各種準備にあたり、ご尽力いただいた方々及び、ダンサーとして練習に励まれた方々には、この紙面を借りて、厚く御礼申し上げます。



オー・シャンゼリゼを踊る

1-5) 日本文化体験・着付け

稲垣 朋子

日本に到着後2日目の文化体験の着付けに皆様興味津々のご様子。

つくし野センターの和室2部屋はフランス語での“Bienvenue a Tokyo”お迎えの横断幕と、床の間の掛け軸と生け花(白谷様のご配慮)が彼らの目を捉えたことでしょう。

男性、女性、其々着物に手を通していくうちに、歓喜の雄叫び!!

特に女性陣が着物を身に着けていく時の表情はまるで子供の様に燥いでいらした。

肌着 長襦袢 着物 帯と着付けが進む一コマ一コマをカメラに収める方々もいらした。

着付けが終わりパートナーとご対面の時、お互いハグしたり、キスしたりで大盛り上がりでした。

これだけの感動を与えられましたのも、毎回ご協力下さる講師の井上先生と準備段階から大変なご苦勞をなされた白谷裕子さんのお力添え無しには成り立ちません。

肌着 長襦袢 着物 帯 小物セットを多数ご準備下さったが、皆様一度着られると、なかなか着替えて頂けません。今後は参加者全員の枚数を用意するという課題が残りました。

ただ、外国の方々は体格が立派ですので、和服の決められた身幅でいかに美しく着付けて差し上げられるかと、井上先生は汗だくで奮闘して下さい、お一人、おひとり、それは見事な出来栄でした。

私はただ腰ひも、小物を手渡したり、脱いだ着物を畳む程度のお手伝いしか出来ませんでしたが改めて日本の文化の奥ゆかしさを垣間見る事が出来、嬉しくなりました。



着物美人の勢ぞろい

わずか2時間の体験ですが、参加者皆様の笑顔と歓喜の表情を見ますと、この体験は、今後とも欠かす事の出来ないプログラムの一つになる事を確信しました。井上先生、白谷裕子さま 本当にありがとうございました。

1-6) 日本文化体験・書道

白谷 勇介

3月26日月曜日、1時過ぎからつくし野4丁目の書道家信岡東璋先生のお宅で書道体験を行いました。参加人数が15人と多い為お弟子さんの大門さん、中澤さんにもお手伝いして頂きました。去年の反省会でご要望のあった書道の簡単な英文解説は永島さんに作って頂きました。前日の歓迎会でプリントを参加者にお渡しし、予め書道について理解して頂きました。つくし野センターの部屋が取れなかった為、先生のお宅の和室で行い戸惑いがあったと思いますが、これも日本文化という事で体験して頂きました。

各自の名前をひらかなで先生に書いて頂いたお手本を見ながら書いて頂きました。その後時間も有りましたので、漢字の楷書、行書も体験致しました。又フランス、バスク等他の字も書いてみました。今回は写真担当、付き添いも付けて頂きましたし、先生に模様入りの紙に書いて頂いたお手本と共に記念品となりました。この和室は普段の生徒の稽古場ですので、壁に掛けてある先生の書と特別に先生が今回お掛けになった書が有りましたので、日本の書道の一旦も見えて頂く事が出来ました。午前中が和服を着てみる体験でしたので、地味な書道体験はどうだったのかなと思いますが。

先生は普通お香を焚いておられるので、又機会が

あれば、お香の簡単なお話し、墨を摺る作業、小筆で手紙を書いている様子等見学も良いかもしれません。先生のお宅で2回行いましたので、先生の生徒さんにも西東京FFの活動に興味を持たれた方が増えたようです。

前日に書道体験について説明する機会があればより良いかもしれません。



熱の入った習字体験

1-7) ディナーホスト 梅の香に誘われて

山崎 恵美子

春の到来が遅かったのが幸いし、家の前の梅林がピンク色に染まっていた。

桜を待ち望んでいたビアリッツの人は喜び、梅林に入り込み、写真をとるのに夢中であつた。私は内心ひやひやした。この梅林は、勿論、我が家の所有ではなく、近くに住む個人私有地である。でも、これほど子供のように喜び、香にうっとりし、花を愛でている外国の人の姿を見れば、何もいわず、微笑むだけだろう。それだけでも、我が家でディナーパーティをさせていただいたことは良かったかもしれない。

色とりどりの一品持ち込み得意料理に、また季節の果物、チーズなどにアンバサダーの方たちは感動し、ワインを飲み、食を堪能し、おしゃべりを心ゆくまで楽しんでいた。



歓談のひととき

フランス語で仲間とリラックスしながらも、私達を気遣い、話しかけようとする神士淑女に、応える努力を惜しまない私達日本人のさわやかな振る舞いも、美德であつた。ここに美しい交流が生まれるのだらうと確信した。

しかし、まだ2日目だというのに、疲れが、どーっと

押し寄せ、あとの5日間を乗り越えるため、無事で、元気でいることを私は願うのみで、余裕は消えていた。

1-8) 都内観光

永島 美奈子

千鳥ヶ淵の桜があと少しでほころび始めるという一日。気温 14 度の晴天の下、皇居ツアーはスタートしました。将軍や皇室に思いを馳せ、同時にたくさんの植物に魅了されながら散策。なんと皇居には 1300 種以上の植物が生息しているとか。皆さんたくさん写真を撮られていたので日本の自然を満喫できたのではないのでしょうか。

次にJAビルでランチ。産物を使った手作り弁当を堪能したグループ、ビジネスマン御用達の定食屋さんでお盆を持って小鉢を選んでいただいたグループ。どちらも日常の食文化を堪能いただけたのではないのでしょうか。



皇居にて

最後は浅草見物。こちらはお寺や町人文化。振り返ると短いながら日本の多くの魅力が凝縮された素敵なツアーだったと思います。

1-9) 鎌倉見物

富長 健治

第5日目(3/29)は鎌倉見物を行った。総勢29名は朝10時に江ノ島電鉄・長谷駅に集合。足の悪いミッシェルさんと会長を特別班とし、計 5 班に分かれグループ単位で行動し、概ね下記のコースで鎌倉市内を散策した。

10:00 過ぎ、長谷駅出発→長谷寺見学→高德院(大仏)見学→(移動)→12 時半、鎌倉駅周辺・小町通り→(昼食)→14 時過ぎ、鶴岡八幡宮→小町通りにて買い物→16 時半、JR鎌倉駅集合、解散

天気は絶好の行楽日和。気温も歩くのには丁度良

い暖かさである。ただ、残念だったのは例年だと桜の花盛りの季節であるが、蕾さえ膨らんでいない。大部分のメンバーが昼食を取ったシャングリラにあるイタリアレストラン「フィオーレ」は八幡宮の“段かずら”を一望できる場所であった。桜の満開時は“さぞ見事であろう！”と想像しながらの食事であった。それでも長谷寺の裏山から一望した相模湾の景色、八幡宮・本殿から臨む一の鳥居方面への参道の眺望はやがて「世界遺産」となるであろう鎌倉の特徴「自然の要塞」が垣間見えた。

また、鎌倉五山の建長寺・円覚寺にどうしても行きたいと言うメンバーもあり、足を伸ばし要望を叶えることも出来た。帰りの江ノ電の車窓から夕焼けの富士山の雄姿を遠望出来たのも幸いで、ほぼ満足の行く小旅行であった。



鶴岡八幡宮にて

【2】受入と渡航のED

会長 柳川 善一

諸外国からの受入が中心だった西東京クラブが、一念発起して 2002 年にオーストラリアのマレーブリッジへ出掛けてから、早くも 10 年が経ちました。その後はほぼ毎年受入と渡航を順調に繰り返していますので、交換担当のEDたちは渡航先の様々な外国クラブの受入などを参考にして、西東京の受入方法もどんどん変化してきました。いわば遠路はるばる来日したアンバサダーを、「おもてなし(Host)」する家族ぐるみの交換主体から、新旧会員が行事の役割分担をして、広くクラブ全体で交換する方式が多くなりました。

全面的にアテンド困難な多忙な若い会員にはこの方が参加しやすく、またEDの責任が分散するのでヘルプが楽です。来年はロシアからの受入とニュージーランド渡航の両方とも、EDを大勢でヘルプする体制が出来上がり、クラブとして結束して交換を進める機運が盛り上がってきました。「おもてなし」の心も決して忘れず、どうぞよろしく。

【3】浜離宮鷹狩り見物

石井 健二

新橋駅から徒歩 10 分ほどの浜離宮は、海水が入りする汐入り池と2つの鴨場跡が特徴の旧徳川將軍家庭園で、FF来客の観光案内に時々用いています。

以前下見に訪れた際、新春恒例の行事としてここで鷹狩技(「諏訪流放鷹術」)の実演があることを知り、クラブメンバーに呼び掛けて1月3日、有志9名で見物しました。飼いならされた鷹を、「据え」(水平に保った拳上に鷹を安定して止まらせる)「振替」(鷹匠間に飛び移らせる)、「渡り」(樹上の鷹を呼び寄せる)などの基本動作に続き、近くの電通ビル(46 階)の屋上から鷹を飛ばせて獲物に仕立てた鳩を捕まえさせるショーでした

鷹が放たれるや、普段その辺りが縄張りになっているらしいカラスが群れをなして大騒ぎして飛び交うなか、「振替」で鷹匠の合図に応じず樹にとまり続けた一羽の鷹が、突如飛びたって獲物を捕まえるハプニングもあって、大いに楽しんで来ました。



浜離宮にて

【4】2012 年度西東京クラブ総会

山本 文

2012年2月5日(日) 11:30~13:30

ホテル ザ・エルシー 町田 中華レストラン 龍皇

昨年から、新入会員も増え、また、会員皆様の FF の活動への参加も積極的になり、総会出席申込者数が25名を超えそうになり、龍皇の個室に入りきれないのではとの、嬉しい心配をしましたが、当日参加者23名で、何とか入りきれました。

来年の総会は、もっと広い部屋を探せるよう、これからの西東京クラブの発展を期待しています。

総会では、2011年度会計報告、2012年度予算案が承認され、2011年度活動報告、2012年度活動予定案が、報告されました。



また、2012年度新役員も、承認されました。

顧問: 佐原泰子 会長: 柳川善一 副会長: 石井健二

理事: 高垣孝 竹田敏子 虫明陽子 山崎恵美子

山本文

会計: 今村佐知子 加藤幸子

会計監査: 石田充 村上トシ子

【5】鎌倉観光下見と親睦会

竹田 敏子

この企画はフランスのピアリッツクラブ受入中(2012/3月25日～31日)の鎌倉観光の下見と西東京クラブの親睦を兼ねて行いました。

2月7日、小雨時々曇りの中、11時に14名が鎌倉駅前に集まりました

まず受入観光担当から指示の有った鎌倉彫会館を見学し館内の説明を聞きました。

昼食は、近くの有名な御蕎麦屋さん、「こ寿々」で済ませた後、鶴ヶ丘八幡宮を参拝、下見そして、八幡宮裏手の豪華なカフェ、「欧林洞」にて、ティータイムを持ち親睦を深めました。



鎌倉下見ツアー参加者の皆さん

その後、小町通りで当日の昼食場所など検討しながら‘画廊 シ・アース’に向かいました。

其処では丁度、会員の井出さんの個展が開催中で素敵な絵を鑑賞出来ただけでなく、アンバサダー達の鎌倉観光当日にも、画廊を休憩や時間調整にどうぞお使い下さいと、オーナーからお申し出が有りました、後日実際に鎌倉観光の折に使わせて頂き有難かったです。

楽しい遠足の様な1日を、満喫しながら3時頃解散しました。

【6】広島で世界大会

FF日本事務局 石井 嗣代

フレンドシップフォースでは、毎年秋に世界大会を開催しております。今年は第35回となりますが、日本の広島で開催されます。広島クラブは若いクラブでありながらアイディアを出し合い、全員一丸となって、大会を成功させようと頑張っておられます。

さまざまなアイディアが飛び交い、楽しい大会となりそうです。アジアの各地から、また過去に交換のあったさまざまな国からお客様が見えることでしょう。世界大会は皆さんがニコニコと話し合い、初対面でも会話の弾む楽しい集まりです。10月31日からですが、是非皆さんご参加頂いて、この楽しさを味わっていただけたらと思います。FFIのウェブサイトにも、日本のホームページにもご案内が載っております。是非、ご覧になってみてください。



【7】その他活動

7-1) 5月1日 FF台湾のリサさん、キャシーさんと、川崎・寺家ふるさと村をハイキング

7-2) 5月15日 井出万里子さん宅にて、ポトラックによる昼食懇親会



【1】2012・2013 年の主な活動予定

(連絡先担当者の敬称略)

- ・7月26日～8月1日
エストニア・タリンクラブ渡航
連絡先) ED 虫明 陽子 Tel: 042-795-5466
Email: yoko-mushiaki-8lynx@nifty.com
- ・9月1日(土) 14:00～
関東ブロック会議(西東京クラブ主催)
会場: 甲南大学 ネットワークキャンパス東京
連絡先) 山本 文 Tel: 042-725-6617
Email: fumi_ym@jcom.home.ne.jp
- ・10月31日～11月2日
広島世界大会
連絡先) 山崎恵美子 Tel: 044-953-4121
Email: emiko.yama-j-bar@mx1.alpha-web.ne.jp
- ・2013 年春予定
ロシア・サラトフクラブ受入
連絡先) ED 山本 文 Tel: 042-725-6617
Email: fumi_ym@jcom.home.ne.jp
- ・2013 年秋予定
ニュージーランド・ネルソンクラブ渡航
連絡先) ED 山崎恵美子 Tel: 044-953-4121
Email: emiko.yama-j-bar@mx1.alpha-web.ne.jp

【2】新入会員のプロフィール

・松塚 邦子

八王子に住んでおります。
子供は3人で孫5人、そして猫・犬です。
旅行が好きで、新聞でフレンドシップのことを知り、
入会させて頂きました。
明るく楽しい仲間と一緒に外国の方をお迎えしたり、
訪れたり出来ることを楽しみにしています。
よろしくお願いします。

・菅沼益子

知るは楽しみなりといひます。新しいところへ行ったり、
新しい経験をすることが大好きな、好奇心の強い人間
です。

我が家は、娘はすでに嫁ぎ、定年退職をした少々頑
固だが心優しい夫と寡黙な息子、そして私たち家族を
席卷している愛犬と、横浜市と逗子市の間で暮らして

います。このクラブについて知らないことばかりです。
忌憚なく叱咤ご指導ください。こう見えても傷つき易い
ハートを持った小心者、そのところよろしく。

・中川貴文

この前 30 歳 になりました中川貴文と申します。西東
京クラブで皆さんと楽しく過ごせることを嬉しく思います。
私は大学を卒業した後も働かず、家にも帰らず、何を
しているのかも分からない親不孝ものでした... 冗談
です。大学院の博士過程ではアメリカに留学し、卒業
後はイスラエルへ働きに行きました。日本に帰ってき
まして、今は太陽電池に関する研究を行なっております。
今後ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

・小島志津恵

知人(西村さん)に誘われて、初めてフレンドシップフォ
ースの存在を知りました。日頃、仕事・友人を通じての
国際交流は数少なく、とても刺激になりそうです。
国の枠も越え、人生経験豊富な諸先輩方との交流も
楽しみです。

3月末のビアリッツのウェルカムパーティーでは、歌
を唄う事により、歌の感動は国の境・枠を越えるもの
だと確信し感動しました(^O^)

これからも国際交流に携わり、参加出来るのを楽しみ
にしています。宜しくお願い致します。

【編集後記】

昨年末広報部に会員の竹之内さん、永島さんに入っ
ていただきました、パソコンによる編集法をすぐ体得し
ていただき、今回はお二人の編集・レイアウトにより構
成が出来上がりました。また、FFJ のウェブサイト
(<http://www.friendshipforce.jp>) に掲載されている、西
東京クラブのホームページも、お二人の手で3年半ぶ
りに更新されました。早速、広報部の貴重な戦力とな
り、嬉しく思っております。

柳川会長も当会報で書かれているように、最近、西
東京クラブも新旧会員参加による行事や活動が活発
化し、それらの役割分担も進んできました。従来とも
すると個人に負担が片寄りがちだった諸活動に対して、
クラブ全体でサポートする気運が出てきたことを、広報
部としても実感しています。

これを機会に広報活動を更に充実させて行きたいと
思います。

広報部: 高垣 孝

編集発行: ザ・フレンドシップフォース・西東京
事務局: 東京都世田谷区上馬 2-37-12-701
柳川 善一

Tel & Fax: 03-3419-3018

E-mail: nagikawa@n01.itscom.net